

平成29年度「留辺薬まちづくり協議会」(第2回)会議録要旨

◎ 日時	開催日時 平成29年4月27日(木) 18:00~19:00
◎ 場所	留辺薬町公民館 1階 小ホール
◎ 出席者	協議会: 12名(横田会長、稲村副会長、荒委員、石田委員、菊池委員、坂口委員、高野委員、武田委員、立垣委員、野瀬委員、古川委員、山梨委員)
	北見市: 安井留辺薬教育事務所長
	事務局: 飯塚留辺薬総合支所長 奥原留辺薬総合支所 総務課長 今野留辺薬総合支所 総務課地域振興係長 村田留辺薬総合支所 総務課地域振興係
	傍聴者: 無し

開 会

事務局 (総務課長) 開 会 (18:00)
皆様お晩でございます。定刻の時間になりましたので、ただいまから、第2回留辺薬まちづくり協議会を開催いたします。
なお、五十嵐自治区長につきましては、出張のため、本日は欠席となりますので、ご報告をさせていただきます。
それでは、開催にあたりまして、横田会長から、ご挨拶をいただきます。

横田会長
お晩でございます。まず、まちづくりパワー支援事業に参加をしていただいた皆さんに、心から感謝を申し上げたいと思います。
今日は限られた時間ではありますが、できるだけ皆さんと意見交換ができればと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

事務局 (総務課長)
それでは、これからの進行につきましては、横田会長にお願いいたします。

報 告

「 会議の成立について 」

横田会長
それでは、会議に先立ちまして、委員の皆様にも事務局の方から会議の成立について報告をいたします。

事務局
(地域振興係長) 本日の出席委員数は、15名中、12名であります。北見市自治区設置条例第7条第3項の規定に基づき、半数以上の出席がありますので、本日の会議が成立いたしますことをご報告申し上げます。

なお、大江委員、千田委員、山久委員におかれましては、所用により欠席される旨、ご連絡をいただいておりますので、合わせてご報告いたします。

横田会長 本日の会議につきましては、概ね7時半ぐらいを目途に終わりたいと思います。

審 査

「 (1) まちづくりパワー支援補助金公開審査 」

横田会長 それでは、次第の『2. 審査』に入ります。
まちづくりパワー支援事業の補助金の公開審査をこれから行いたいと思います。
はじめに、審査の流れについて説明を受けたあと、審査に入っていきたいと思っておりますので、事務局の方から資料に基づいて説明をしていただきます。

事務局
(地域振興係長) 今回のまちづくりパワー支援補助金につきましては、2団体からの応募がございました。予算額については150万円に対しまして、2団体あわせて114万1千円の要望があったところでございます。

予算額の150万円に達しておりませんので、本日審査をしていただいた金額が確定しました後に、2次募集を行う予定であります。

それでは、資料1ページをご覧ください。まちづくりパワー支援補助金の審査の流れですが、各団体から応募のありました書類については、事前に事務局において確認させていただいておりますので、この後の審査については全て公開により取り行うこととなります。

応募書類につきましては、資料3ページの「留辺薬まちづくりパワー支援補助金取扱要領」これの「6 応募書類の確認」に基づき、審査対象となります2団体の応募書類を事務局で確認しております。

1ページにお戻り願います。公開審査ですが、ナンバー1からナンバー2の事業順に各団体の方から、それぞれ5分程度の時間でプレゼンテーションを行っていただきます。

5分経過しましたら、事務局からベルでお知らせしますので、よろしく願いしたいと思います。

団体のプレゼンテーションが終了した時点で、質問の時間を設定しております。最後の団体の質疑が終了した後、委員の皆様には本日お配りしております審査評価シートに点数を記入していただいて、シートを回収いたします。

その後、一旦休憩を取りまして、事務局において集計作業を行い、平均点数と交付決定額の算出をいたします。

集計作業が終わりましたら、各事業応募団体の審査結果の点数とランクを発表し審査を終了いたします。

審査方法ですが、5ページをご覧ください。5ページに「様式第1号 審査評価シート」を掲載させていただいております。

下の方に評価点数基準がありますので、それぞれの事業の6つの評価項目、こち

らに1点から5点の点数をつけていただきます。

全部の評価項目が、全て5点であれば合計で30点ということになります。

回収したシートを、7ページの「審査点数の集計及び平均点数」こちらのシートに各審査員の点数を事務局で転記し、平均点数を計算いたします。

平均点数の算出は、最高点と最低点各一人分の評価点数を除いて平均点数を算出いたします。

平均点数が算出されましたら、6ページの「補助係数表」こちらに基づいてランクと補助係数が決まります。

審査の結果、平均点数が26点以上であれば、要望額に対して10分の10の補助となりますが、21点以上26点未満であれば10分の9、15点以上21点未満であれば10分の8ということになります。

なお、平均点数が15点未満の事業につきましては、不採択となりますので、補助金は交付されません。

次に4ページをご覧ください。4ページの「9 評価の方法」の(5)に規定していますが、採択候補事業の補助係数が決定しましたら、それぞれの団体からの要望額に補助係数を乗じて算出した額が補助金額になります。

なお、審査の結果、補助金額が要望額よりも下回った場合については、その団体に対して、審査後の補助金額で事業が実施できるかどうか、この確認が必要となりますことから、後ほど各団体へ通知させていただくこととなります。

本日は審査結果の点数とランクと補助係数のみを公表しますので、最終的に決定した補助金額などの採択結果につきましては、後日公表させていただくこととなります。以上でございます。よろしくお願いいたします。

質疑・意見

稲村副会長

新しい委員さんで初めての方がいらっしゃるんで、評価シートを配られているんですけど、評価項目の②地域的必要性の欄が3つあるんですけど、最初に、北見市総合計画で掲げる自治区別整備方針に合致している事業かという項目は、多分理解できていないと思うんですね。そこを説明してください。

事務局

(総務課長)

留辺蘂自治区の目指す姿といたしましては、農林観光を柱に皆で支え合う安全で安心なまちづくりとして、整備方針については、豊かな森林資源を保全し、安定した水資源が確保された地域、健康で暮らし、思いやりのあるコミュニティ活動が活発な地域、品質の高い農畜産物と高度な林産物を生産する地域、観光資源を結ぶ広域観光ルートが確立されたオホーツクの玄関口ということで、重点施策を設けています。

こういったことを加味し、整備方針に合致している事業かどうかという視点で審査いただければと思います。

横田会長

それでは、これからプレゼンテーションを行います。

資料の事業ナンバー順に従って行っていきたいと思いますので、各団体の代表者の方よろしくお願いいたします。

【 白花豆 PR 事業 】

横田会長

それでは、ナンバー1、るべしべ白花豆くらぶの「白花豆PR事業」について説明をお願いします。

るべしべ白花豆くらぶ

るべしべ白花豆くらぶ代表の森谷裕美です。2年間にわたり、留辺薬まちづくりパワー支援補助金に採択いただき、また、私達の活動に対してご支援いただきましたことに深く感謝いたします。

それでは、今年度の白花豆PR事業についてのご報告をさせていただきます。

事業目的は、日本一の生産量の当地特産品の白花豆のPR並びに利活用促進とし、今年度も4つの事業を行います。

1.白花豆の種豆の配布による白花豆栽培、家庭菜園の普及。早朝ウォークの参加者、雪物語（冬季イベント）他、2.植栽活動、時期は6月、花えーるの畑を活用し、観察会用の圃場とする。白花豆のアーチを仕立てる。北の大地の水族館前、花えーるに、白花豆のグリーンカーテン、プランターの設置。3.白花豆の生育観察会、場所花えーる。時期は7月。4.おんねゆマルシェ、場所、おんねゆ道の駅、時期は9月3日です。

周知方法は広報きたみへの掲載、留辺薬地域への新聞折込み、各種メディアへの掲載、ポスター、チラシの作成、配布、掲示、インターネットを活用した情報の発信、ホームページ、フェイスブック等のSNSを活用。

期待される事業の効果、白花豆の魅力アピール、白花豆の利活用促進、交流人口の増加、地域の活性化。

以上事業内容についてご報告させていただきました。皆様のご期待に応えるべく決意を新たに事業に尽くす所存でございますので、今後ともよろしく願いいたします。

また、るべしべ白花豆くらぶが設立からわずか2年あまりですが、白花豆のPR、活用促進、地域の活性化に取り組み、活動が評価され、北海道開発局主催である、「わが村は美しく-北海道」第8回コンクールで奨励賞を受賞しました。

昨年行ったおんねゆマルシェでは、辻市長に来ていただき、また、北見で白花豆をイートインできるお店がないので、是非ともオホーツクビールさんで売れるようにということで、当くらぶでもプレゼンを行いまして、白花豆がメニュー化されました。

また、昨日のホットニュース北海道でも放送されましたが、果夢林ショップで白花豆のソフトクリームが販売されています。とても豆の上品な味が後に残り、すごく良い仕上がりになっていますので、どうぞ皆様ご賞味ください。

質疑・意見

横田会長

今、説明がありました。皆さんの方から、ご意見、質問等を受けたいと思います。

坂口委員 白花豆の栽培がドンドン減っていると聞くんですけど、白花豆を沢山つくって売るのが目的なのか、一生懸命やっているのは評価しますが、観光PRがメインなのか、何か目的がちょっと漠然としている気がします。

去年は収量も少なく、品薄状態だったと思いますが、何か観光事業を観光協会の代わりにやっている印象が強いですが、そのあたりはどうお考えですか。

るべしべ白花豆くらぶ おっしゃるとおり、白花豆の栽培は手間がかかりまして、やはり去年は大幅に収量が減りました。

私達の目的としまして、量は採れないんですけど、留辺蘂の産地ブランドとして知っていただきたいということと、更に、るべしべ白花豆くらぶは農業者の他にも、商業者、ホテル業の方もいますので、白花豆を知っていただいて、食べに来ていただいて、温根湯の流動人口も増やし、更には、温根湯に住んでいただけたらと、そういったミッションも考えています。

坂口委員 これに刺激されて、人気ある商品なんだから、白花豆の栽培を増やしていこうというのが一番理想なんだけど、愛知県の安城市で、学校給食に白花豆のスープを取り上げてもらって、それが栄養士同士で全国に広まって、学校給食に白花豆がスープに使われるということもありました。

手間がかかって大変だということで、ドンドンつくる面積が減っていることは、非常に残念に思っています。

知ってもらうのも大事ですが、そういう仲間を少しでも増やしていって、豆の作付けが増えていくというような形になるようなことも、活動の中で是非、取り入れて欲しいと思います。

荒委員 今回の坂口さんの話にもかかわるのかもしれませんが、早朝ウォークへの参加者に配布するという事だと思うんですが、これは当然、温根湯中心となるんですね。

横田会長 地元だけではないと思いますが。

るべしべ白花豆くらぶ 留辺蘂のみどり祭りの時にも配布します。

稲村副会長 坂口委員と同じようなことなんだけど、生産者が減っていくということの原因として、手間がかかる割には商売としてはペイしないということが原因なのか、そのあたりが少し、目的も含めて、私達とすれば留辺蘂のメインの白花豆なので、是非増やしていってもらって利用してもらったらいいだろうと単純に思いますが、原因はどこにあるのかなということをして是非知らせてほしいと思います。

まち全体として手伝えることがないのかと。そういう視点から考えるとなかなか難しい問題なのかもしれませんが。

るべしべ白花豆くらぶ 温根湯地区は、ピーク時には400ha ありましたが、今はその5分の1ぐらいです。昔はパートさんというか、人手もいましたし、春先の玉ねぎの移植作業とか、年雇用であったんですけど、今はそういう年金暮らしのパートさんとか、人手がま

ずいないのと、当然、他の作物も段々機械化になって手間がかからなくなりました。

白花豆に関しては、自分も30年前に帰って来てからやっていることは一緒なんですけど、その中で、段々農家戸数も減ってきて、経営面積が増えてくると、どうしても手間がかからないものにシフトします。

その中で我々がこの地域を守りたいという中で豆というのは、収益性は特に単価が高いし、それなりの魅力はあるんですけど、春も秋も短期勝負ですので、どうしても仕事が遅れると秋の次の年の準備だったり、去年は雪の中収穫したりとかもやっている方もおられたので、そういうことを考えると、周りから見るとなかなか、一旦減らしたり、止めてしまうと再度増やすことは難しいので、ほかの地域も含めて少しでも作ってもらったり、人手の人材派遣みたいな事業等になれば地域にとってもいいのかなと思います。

稲村副会長

せっかく需要があるのに、あまり高くしたら売れないということもあるだろうし、難しい問題だとは思いますが。

横田会長

会員数18名ですが、結果的にこれだけ行事をやっていて、今、稲村委員が言ったように、果たしてこの18名の方々が仕事をやりながらというふうになると、我々ばかりでないけど、地域の皆さん方の協力がこれから必要になってくるのではないかと思います。

その時に、積極的に我々の方にも声かけをしていただくということが必要なんじゃないかと思うんです。

そういう意味では、18名の皆さんは農家をやっている方も沢山いらっしゃると思いますので、そのあたりはお伺いしていただかないと駄目かなと思います。

もう1つは、我々はいろいろとホームページ等を見て、各地域のこういったものを常に見ています。白花豆くらぶさんと観光協会さんとで相談はされていると思うんですけども、ホームページも含めて、観光協会の方で積極的に対応していただいていますか。白花豆をやっている所の写真などをホームページではあまり見かけないですが。観光協会として、イベントなどの情報は出されていないですか。

るべしべ白花豆くらぶ

今のところはないです。

横田会長

これから大事なものは、観光協会に積極的に参加してもらおうということも考えていく必要があるんだと思いますので、そのあたりは是非配慮していただければ良いかなと思います。

菊池委員

今、耕作している農家は何軒あるんですか。大体面積はどれぐらいですか。ということは、新しい白花豆のアイスクリームを作ったということで、自治区長は大変褒めていたんですよ。

今度、果夢林の館でお売りになるということで、それなりのPRができると思いますが、どこで生産して、どこで製品化するのか、教えていただけますか。

るべしべ白花豆くらぶ

白花豆のソフトクリームに関しては、ふじや菓子舗さんが担当しています。

- 菊池委員 そこでアイスクリームの原料を作って、機械の中に入れるということですね。
- るべしべ白花豆くらぶ レシピだとか、配合だとか、ペイストが何割だとかという、そこまでをふじやさんが考えました。それ以上のことは、正直私も存じ上げていません。
- 横田会長 そういうことで、350円だったかな。食べに行ってください。美味しかったですよ。
- 野瀬委員 美味しかったです。本当に豆の味がしました。ただ、残念なことに、果夢林の館は奥、その手前に鳩時計があって、その前にお店屋さんがありますよね。あそこに何か白花豆云々と書いてあって、とても紛らわしいんです。
- だから、奥に行かないとソフトが買えないことがわかりづらい。何かもうちょっとPRの仕方を考えられるといいのかなと思います。
- 先日、十勝の方と、養老牛の方へ行ってきましたけれども、白花豆が朝食に出されておりました。だから、とっても大事にされているんだとは思いますが。とても美味しい形で出されていたので、PRはできていると思います。
- 横田会長 それでは、委員の皆さんも行政の皆さんも食べていただくと良いかなと思います。代表の方ありがとうございました。

【 音楽鑑賞事業 】

- 横田会長 それでは続きまして、ナンバー2、夢のミュージックプロジェクト・留音(るね)の会の「音楽鑑賞事業」についての説明をお願いします。
- 夢のミュージックプロジェクト・留音の会 夢のミュージックプロジェクト・留音の会の高野です。今日はメンバーの三丈、石原、留辺薬小学校新熊教頭と参りました。どうぞよろしくお願いいたします。
- 今年度は、お手元の事業企画書にもございますように、音楽鑑賞事業として、小中合同の学校公演を1回、一般公演を2回と3つの事業を企画しております。
- 一般公演では、留辺薬をPRできるようにパンフレットを産業課よりご提供いただき、ご来場者に配布いたします。
- また、昨年好評でありました保護者同伴の先着50名の小学生以下無料招待を引き続き実施し、老若男女、皆様に楽しんでいただきたいと思います。
- 公演内容は、お返ししている資料にもございますが、5月30日結成10周年記念ヒダヤスナルスーパーライブを行います。本年で3年目になりますが、アンケートで来年も必ず呼んでくださいという多くの声と、電話での今年はいつですか、そういう問い合わせの多さに、本年はファイナルツアーということで公演を決定いたしました。
- 今回は、地域の方にも参加いただく企画を計画しておりますので、ご期待いただければと思います。
- そして、10月には、和ポップバンド Ezo' n による一般公演を開催いたします。

Ezo'n は、日本の伝統音楽、三味線、和太鼓の音色、そして民謡の存在を未来を担う子どもから大人まで幅広く多くの方々に伝えたいというコンセプトで、北海道を拠点に活躍している皆さんです。心に響く和太鼓の音色を親子3世代で楽しんでいただければと願っております。

また、この公演では留辺薬の留青太鼓とのコラボ演奏も企画しておりますので、お楽しみにしていただきたいです。

次に、本年度の学校公演は、日本のみならず、世界各国で様々な世代への日本文化の伝承に貢献し活躍されている、津軽三味線、小山豊さん、和太鼓、金刺敬太さんに東京からお越しいただき、音楽鑑賞事業を実施いたします。

2020年の東京オリンピックに向けて、現在、和楽器ブームとなっているのを機に、和楽器に親しみの薄い若い世代に伝統音楽に触れていただき、今後、情緒豊かな日本の音楽を残していただく一端となればと思っております。

ここで、学校公演について、留辺薬小学校新熊教頭にお話いただきます。

夢のミュージックプロジェクト・留音の会 昨年度は、太鼓マスターズによりまず学校公演を行っていただきまして、留辺薬自治区内小中学生にとって大変実りのあるものでありました。

今年度についても、三味線の方、和太鼓の方ということで、小学校も中学校も音楽の教育課程では、日本の伝統芸能といいますが、音楽に触れるという項目もありまして、そういった観点から考えても、実際にプロの演奏を生で見られるというのは、非常にタメになる学習なのかなと思っていて、非常に期待しているところであります。学校としても、留辺薬自治区内の小中学校にとっても、是非とも実現してほしいものであることをお願いしたいと思っております。

夢のミュージックプロジェクト・留音の会 また本年も皆さんに笑顔で元気になっていただけるライブになるよう会員一同頑張っておりますので、皆様どうぞよろしくご依頼申し上げます。

以上で、留音の会のプレゼンテーションを終わらせていただきます。ありがとうございました。

質問・意見

横田会長 只今、留音の会の音楽鑑賞事業について説明がありました。皆さんの方からご質問、ご意見等がありましたらお願いします。

坂口委員 これは、公民館の文化事業で本来取り上げる事業じゃないかなという気がするんですよね。少し引かかるのは、3年目ですよね。その趣旨は十分皆分かっているんだから、公民館講座の中でこういうものを繰り入れるような、そういうような方法も良いような気がするんですが。

ただ、公民館講座は制約があるから、こういう事業はなかなかしにくいとは思いますが、公民館の人達も、何をやったらいいか頭を抱えているんだから、それをうまく組み合わせていくような、資金の心配をしないようにしながらできるのが1番良いのかなと思います。

- 横田会長 津軽三味線は非常に受けると思いますが、地元の人で、どなたか三味線をやるような人はいないですか。
- 野瀬委員 雪山会という地元の文化団体はあるんですけど、やはり高齢ということで、今は3名です。
- 横田会長 そういう団体とジョイントできれば良いと思うし、上手く組み合わせられれば良いなと思います。
- 稲村副会長 来年以降のことは何か考えていますか。
- 夢のミュージックプロジェクト・留音の会 来年以降はまだ考えておりません。
- 稲村副会長 別なジャンルをやるとか、去年も言ったんだけど、あまりこだわっていないけど、本当に美しい曲を、静かな所で聴くような、そういうものも是非取り入れてほしいなど。いろいろな団体が結構あるんですよ。
そんなことも是非続けてもらえたら有り難いなと。あくまでも私の意見です。
- 横田会長 審査対象の2事業についてプレゼンテーションをしていただきました。
団体の皆さん大変ありがとうございました。

採 点

- 横田会長 それでは、これより審査評価シートによる採点を行いますので、よろしくお願いいたします。
- 先ほど、説明がありましたけれども、評価項目は①から⑥までの6項目です。
各項目最高で5点で、合計の最高点が30点であり、中間点の15点以上が採択候補事業となります。
- 委員の皆さんの採点が終わる次第、事務局が回収し、集計を行いますので、採点が終わりましたら、拳手をしていただくなど、合図をお願いしたいと思います。
- 集計の間、7～8分程度休憩をいたしますので、採点が終わった方から随時休憩をしていただければと思います。
- また、まちづくり協議会委員の方が団体の構成員として参加している事業については、その事業の審査には参加できないことになっておりますので、評価項目の欄全体を斜線で消していただいて、採点しないようお願いをしたいと思います。
- それでは、「審査評価シート」に採点を記載願います。
- 応募された団体の皆さん方については、若干時間をいただいて、結果を聞いてお帰りください。それでは皆さん、数字を入れてください。

結果発表

横田会長 それでは、休憩を解いて会議を続けようと思います。
審査結果を事務局より発表してください。

事務局 それでは、ご報告いたします。
(地域振興係長) 先ず、ナンバー1「白花豆PR事業」につきましては、平均点数26.44点、
ランクにつきましては1ということになります。補助係数が10分の10であります。
続いて、ナンバー2「音楽鑑賞事業」については、平均点数23.67点、ラン
クが2、補助係数が10分の9になりました。

横田会長 審査の結果につきましては、只今、事務局から発表がありましたが、事業の実施
については、各団体の意向を確認させていただきまして、後日、補助金の交付決定
額を発表させていただきます。
それでは、これを持ちまして、まちづくりパワー支援補助金の審査を終了させて
いただきます。各団体の皆さん大変ご苦労様でした。

その他

横田会長 それでは、本日の案件については、全て終了いたしました。
その他、委員の皆様から何かご意見、ご質問等がありましたらお願いします。

～ なし ～

横田会長 それでは、事務局の方からお願いします。

事務局 事務局からはありません。
(地域振興係長)

横田会長 次回のまちづくり協議会開催については、今のところ予定はないんですけど
も、5月の中旬頃に勉強会を開催したいと考えております。
開催は5月の17日か19日を予定しておりますが、開催が決まりましたら、事
務局の方からご案内をさせていただきますので、皆様のご出席をお願いしたいと
思います。

閉会

横田会長 以上をもちまして、第2回留辺蘂まちづくり協議会を終了いたします。
委員の皆様におかれましては、長時間にわたり大変お疲れ様でした。

以上のとおり、まちづくり協議会（第2回）を終了した。

（ 19：00 終了 ）